

菅江真澄資料センター開設二十五周年記念 企画展

重要文化財 「菅江真澄 遊覧記」 の公開

ふるさと
彩る
図絵の
数々



令和2年 4月25日(土) — 6月21日(日)

休館日 月曜日 ※祝日と重なった場合は次の平日

入館・観覧無料

開館時間 9時30分—16時30分

《雪の道奥雪の出羽路》より



秋田県立博物館

重要文化財「菅江真澄遊覧記」八十九冊(七十七冊十二帖)は、文政五年(一八二二)十二月、菅江真澄(一七五四カ〜一八二九)が秋田藩校明德館に納めた著作を中心に構成されています。「菅江真澄遊覧記」は、江戸時代後期における郷土の歴史や文化、自然を知る手がかりとして、特に秋田では、長年、郷土史研究の中心に位置づけられてきました。まさに珠玉の文化遺産と言えます。

その一方で、彩色図絵が「菅江真澄遊覧記」の大きな特色であるにもかかわらず、これまでに刊行された関連書のうち、カラーで紹介されたものはそのごく一部にすぎません。

今年度、菅江真澄資料センターの開設二十五周年を迎えるにあたり、重要文化財「菅江真澄遊覧記」(明德館献納自筆本)の彩色図絵をあらためて紹介することにしました。モノクロの刊行本にはない豊かな色彩、写本ではわからない自筆本ならではの色の深みや紙の質感など、実物を見て感じ取っていただければ幸いです。



重要文化財「菅江真澄遊覧記」 全冊のべ356図を公開

※全4期に分けて丁替えを実施します。
※図には一部表紙や本文を含みます。
※開帖予定一覧はHPでも公開します。



▲連理のイチョウ (能代市二ツ井町)



▲手這坂 (八峰町峰浜水沢)



▲椿の浦 (八峰町八森椿)

左上《みかべのよろい》第1期開帖部分/左下《おがらの滝》第2期開帖部分/中央《雪の道奥雪の出羽路》第3期開帖部分/右《雪の道奥雪の出羽路》第4期開帖部分



▲買い物帰りの人 (秋田市・通町)

関連イベント(真澄に学ぶ教室)

1 5月24日(日) 講話会「真澄を追った旅の思い出」

講師 柄澤 照文氏 (ペン画家、愛知県岡崎市在住)
永井登志樹氏 (文筆業、菅江真澄研究会副会長)

2 6月7日(日) 講演会「菅江真澄遊覧記、その価値と魅力」

講師 石井 正己氏 (東京学芸大学教授)

3 5月2日(土) 5月16日(土) 6月13日(土)

講話会「真澄展覧会、18の視点を聞く」3回連続

講師 担当学芸職員

●時間 いずれも14:00~15:30

●定員 ①②は80名・③は40名・いずれも申込み必要

学芸職員による展示解説

5月9日(土) 5月30日(土)

6月20日(土)

10:00~10:50

解説 担当学芸職員

定員なし・申込み不要・無料

ビデオ上映会「菅江真澄の旅」

(2002年紀伊屋書店制作)

5月8日(金) 5月22日(金) 6月12日(金)

午前/10:00~12:30 午後/13:30~16:00

(午前/午後は別内容)

定員30名・申込み不要・無料



イベントカレンダー

		日	月	火	水	木	金	土	休館日
4月								25	全4期 丁替え
		26	27	28	29	30			
5月							1	2	講演会等
		3	4	5	6	7	8	9	
		10	11	12	13	14	15	16	
		17	18	19	20	21	22	23	
		24	25	26	27	28	29	30	
		31							
6月			1	2	3	4	5	6	展示解説 ビデオ上映会
		7	8	9	10	11	12	13	
		14	15	16	17	18	19	20	
		21							